

クリニックのホームページに「からだに優しい漢方」としてブログを載せることにしました。その前に、私の漢方の経歴について、お話します。私は、3人の漢方の名医に漢方を習いました。最初に習った先生は、寺師睦宗先生という不妊症の大家の先生でした。漢方の基本の知識（古典的教科書、治療法）と実技（脈診、腹診、診察法）、生薬学（生薬の知識、実際の調剤法）などを先生の診療所で教えていただきました。二番目の先生は、山田光胤先生でした。内科、精神科、皮膚科の漢方を、阿佐ヶ谷の先生の診療所で教えていただきました。皮膚病の漢方治療を含め日本最高の名医でした。山田光胤先生のおかげで、皮膚病治療に対して自信を持って行うことができる様になりました。山田先生は、漢方診察法、診断学（脈診、腹診）についても、日本で最高の方でした。3番目は、丁宗鐵先生です。丁宗鐵先生は東大助教授、日本薬科大学学長をされた、とても有名な漢方医です。東大の丁先生の漢方研究室で6年間、特別研究生として動脈硬化と漢方の研究を行い、博士論文を書きました。また、東大病院内科で漢方診療を約3年間を行い、その後、横浜市大病院（浦舟）内科で漢方診療を約3年間を行いました。2007年より2013年まで横浜市大医学部で非常勤講師として学生に漢方を講義し、2016年より横浜薬科大学客員教授に就任し、現在は、森クリニックで漢方診療をしています。私は、2026年2月で70歳になり、100歳まで生きて漢方医を続けるという目標を定めました。どうぞよろしくお願いいたします。